

### Ⅲ) やまだい保育園乳児室 事業報告 小規模保育事業A型（第2種社会福祉事業）

#### A. 事業報告

##### 1. 保育事業

###### (1) 保育目標

- ・本部園と同じであるため省略。

###### (2) 定員と受け入れ児童数

###### ・年齢別定数

|      | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 合 計 |
|------|-----|-----|-----|-----|
| 2・3号 | 3   | 4   | 4   | 11  |

- ・利用児童数の推移 注：月々の人数は毎月1日現在の人数を示す。

###### 【2・3号認定児童】

|     | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 合 計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 4月  | 0   | 4   | 5   | 9   |
| 5月  | 0   | 4   | 5   | 9   |
| 6月  | 0   | 4   | 5   | 9   |
| 7月  | 1   | 4   | 5   | 10  |
| 8月  | 1   | 4   | 5   | 10  |
| 9月  | 1   | 4   | 5   | 10  |
| 10月 | 1   | 4   | 5   | 10  |
| 11月 | 1   | 4   | 5   | 10  |
| 12月 | 2   | 4   | 5   | 11  |
| 1月  | 2   | 4   | 5   | 11  |
| 2月  | 2   | 4   | 5   | 11  |
| 3月  | 2   | 4   | 5   | 11  |
| 合 計 | 13  | 48  | 60  | 121 |

- ・定員の弾力化（定員に対する利用児童数の割合）については下記の通り

|      | 令和5年度 | 令和4年度 | 令和3年度 | 令和2年度 | 令和元年度 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 年度当初 | 82%   | 109%  | 100%  | 109%  | 109%  |
| 年度末  | 100%  | 118%  | 118%  | 118%  | 100%  |

- ・本年度は年度当初から併設の一時保育室の稼働率が異常に高かったことによる人力的な問題や、入所希望の一時保育児が点数的に入所できるタイミングを図っていたが、結局入所できずに終わってしまったこともあり、0歳児の入所枠を空けるタイミングが計画通りにいかず中途半端になってしまった。

###### (3) 保育内容

###### 1) 設定保育

- ・「全体の計画」に基づいて、年間指導計画・月間保育計画・週案・日案を立案し、保育を実施してきた。

※その他、本部園と同じ内容であるため省略

#### (4) 健康管理

専任の看護師を配置し、園全体の健康管理を進め、子どもの健康状態に常に注意して保育を行った。感染症の発生時には、職員全員に周知を行い、保護者にも掲示等で注意を喚起した。

- ・ **内科健診、歯科健診、耳鼻科健診、眼科健診** 本部園との合同実施。
- ・ **身体測定** 毎月1回 出席ブックに記入し、保護者に確認してもらう。
- ・ 健診の結果、治療や病院で再検査の必要がある場合は、文書で保護者に連絡し、経過を見守った。
- ・ 感染症発症児数

|      | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度      |
|------|-------|------|------|------|------|-----------|
| 感染児数 | 31    | 33   | 6    | 32   | 41   | 33        |
| 主な件数 |       |      |      | コロナ2 | コロナ5 | アデノ9,溶連菌9 |

- ・ 新型コロナウイルス感染症については、発生せず、苦慮しなかった。
- ・ アデノウイルス感染症が流行し、保健所への報告が必要となる水準であった。
- ・ オゾンを用いた空気清浄機（IHI オゾンエアクリア）を用いて、毎日保育室の除菌作業を行った。
- ・ 保育室に CO2 測定器を設置し、随時換気を行った。
- ・ 家庭でも感染予防対策を励行してもらうよう常に注意を喚起した。
- ・ 手洗い、うがいを徹底的し、テーブル等の消毒を行ってきた。

※その他、本部園と同じ内容であるため省略

#### 2. 延長保育事業 18時00分～19時00分

- ・ 5年度は延長保育を常時利用する家庭が4年度よりも少なく、5人から3人に減った。こればかりは、その年の保護者の意向等で大きく変動するため、見通しがつかないと常々感じている。

#### B. 職員体制および管理

##### 1. 令和5年4月1日時点の職員数

- ・ **正職員数 5名**  
**施設長 1名、主任保育士 1名、保育士 1名、看護職員 1名、保育補助 1名**
- ・ **嘱託職員（常勤）**  
**保育士 2名、育休取得者 1名**
- ・ **嘱託職員（非常勤）**  
**保育士 1名（派遣職員）**

#### 2. 健康管理 ※本部園と同じ内容であるため省略

#### 3. 労務管理 労務超過にならないように留意した。

- ・ 令和5年度有給休暇について（職種関係なし、管理職除く）  
平均付与日数 17.5 日、平均取得日数 14.6 日、平均取得率 83.6%  
十分に取得してもらっていると考えている。

#### 4. 福利厚生

※本部園と同じ内容であるため省略

#### 5. 職員の質の向上

※本部園と同じ内容であるため省略

#### 6. 令和6年4月1日時点の職員予定数

##### ・正職員数 5名

施設長 1名、主任保育士 1名、保育士 1名、看護職員 1名、保育補助 1名

##### ・嘱託職員（常勤）

保育士 2名、育休取得者 1名

##### ・嘱託職員（非常勤）

保育士 1名（うち派遣1名）

### C. 組織体制

#### 1. 組織体制

- ・開設以来、職員数が少ないことから12時間の開所時間を維持することについては厳しい状況が続いている。
- ・職員会議 ※本部園と同じ内容であるため省略

### D. 地域における公益的取組

#### 1. 地域における公益的取組

地域の子育てニーズや福祉ニーズに応じていくものとして下記の事業を行った。

##### ●子育て支援事業

- ・園庭開放 毎日 10:30～11:30  
場所：園庭（園行事のある日は除く。）
- ・育児相談 主任保育士や施設長が対応している。訪問・電話 随時
  - ・月～土まで毎日実施していることや、一時保育を併設していることからか、本部園と比べると参加者数が多かったが、ここ数年はかなり利用児数が減少している。
- ・園庭開放参加者数

| 年度   | H29 | H30 | R01 | R02 | R03 | R04 | R05 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 利用者数 | 36名 | 32名 | 42名 | 17名 | 8名  | 7名  | 7名  |

##### ●生活なんでも相談

- ・生活に関わる様々な悩みや相談について、施設長や主任保育士が対応している。訪問・電話 随時

##### ●世代間交流

- ・併設のデイサービス利用者と適宜、交流をした。

●実習生の受入

| 年度   | R02 度 | R03 年度 | R04 年度 | R05 年度 |
|------|-------|--------|--------|--------|
| 利用者数 | 1 名   | 0 名    | 0 名    | 1 名    |

●ボランティアの受入

| 年度   | R02 度 | R03 年度 | R04 年度 | R05 年度 |
|------|-------|--------|--------|--------|
| 利用者数 | 0 名   | 0 名    | 0 名    | 0 名    |

※以下、本部園と同じ内容であるため表題のみ

●近隣自治会への各種協力（催し事・事務への協力、場所提供、設備・備品の貸与など）

●災害時の為の飲用水・食料備蓄

●カブトムシ飼育機会の提供および飼育相談

E. 保護者への対応

※本部園と同じ内容であるため省略

F. 施設・設備安全管理

- ・施設設備のチェックシートに取り組み、安全管理を行った。
- ・火災については全日、不審者については夜間の機械警備を行い、安全管理に努めた。
- ・築 10 年を超え施設設備や備品に破損や劣化が目立つようになってきたため、令和 3 年度から、必要箇所の改修や取り替えを行っていたが、5 年度中に完了することができた。
- ・市の補助金を活用し、安全対策カメラの入れ替えと増設を行った。

G. 病児保育事業（第 2 種社会福祉事業） 平成 3 0 年 9 月より実施 補助金事業

※本部園と同じ内容であるため省略

H. 意見・要望等の処理

※本部園と同じ内容であるため省略